

事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

施設長	施設長補佐	援助課長	医務課長	相談員	係長	担当

フリガナ	●●●●	男 <input checked="" type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>	要介護 5	移動	<input checked="" type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> その他 ()					
本人氏名	●●●● 様	88 歳								
報告者	●●●	発生(発見)日時		平成26年03月17日(月) 05:00 分頃						
場所	<input type="checkbox"/> 居室 <input checked="" type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 拠点707 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他 ()									
状況	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 ()									
状況	夜間0時30より不眠状態で●●●の拠点ソファにて立ったり座ったりと落ち着かない様子続いていたが起床介助に入る時にはテレビを見ており、落ち着いている様子であった為、他入居者の介助へ入る。●●●9の入居者の排泄介助終えようとした時、居間より大きな物音がし駆けつけるとテレビの横で体の左側を下にし転倒しているところを発見する。直ぐに車椅子に移乗する。本人より「ここが痛い」と左足太もも辺りを指差す様子有り。身体観察するも腫れ・変色は見られないが痛みの訴え有り。落ち着かない様子見られた為、トイレへ誘導し多量の排尿を確認する。30分ほど時間を置きバイタル測定行いその後●●●拠点のソファで安静にさせていただく。									
状況	《施設内報告》 ①3月17日 9:25 ●●●援助員より施設長へ転倒の件を口頭にて報告する。 ② 10:00 ●●●援助員より●●●看護師へ転倒の件を口頭にて報告する。 ③ 11:05 ●●●援助員より施設長補佐へ転倒の件を口頭にて報告する。									
症状	<input type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> 擦過 <input type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (本人より痛みの訴えあり。)				部位	左足太もも付近				
症状	皮膚変色見られず。									
対応	<input checked="" type="checkbox"/> 様子観察 <input type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 止血 <input checked="" type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他 ()									
対応	一度車椅子に移乗し本人より「ここが痛い」と話有り左足太もも付近を痛がる様子有り、まずトイレ誘導し身体観察行いその後5時30分ごろバイタル測定行う。朝食までソファ座っていただき様子を見る。朝食後も依然痛み見られる為医務に連絡し身体観察行う。左大腿部痛と上下動かすと痛い訴える。変色・腫れなし。10時40分●●●病院受診し左大腿部大転子部骨折と診断受ける。入院の必要なく帰園され、帰園後居室ベッドで休まれる。									
バイタルサイン	体温	36.8 °C	血压	162 / 90 mmHg	脈拍	79 回/分	SP02	%	計測時間	5時30分
要因・原因	<input checked="" type="checkbox"/> 見守り不足 <input type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input type="checkbox"/> その他 ()									
要因・原因	・本人落ち着いていた状況であった為、他入居者の介助に入ったが行動の予測が出来ず転倒に至ってしまった。夜間0時30分頃より起きて、立ち上がる動作やソファ間の移動、ソファ上で横になったり起き上がったりの行動がみられていた。その間は、目の届くところで過ごされていたが他の入居者の介助に入る際には、見守りや突発的な行動に対する対応は困難であった。 ・昼夜逆転が見られていたが、日中の生活の中での具体的活動(メニューを準備して実施すること)の支援は重度の認知症で理解力が低下していることや意思の疎通が極めて困難であることから支援の実施は難しい。									
事故防止対策	[グループでの検討内容] ・日中の昼寝の時間を検討し、できるだけ日中起きてもらうようにする。・夜間ほかの入居者の介助に入る際は、1介助ごと(着替え後、排泄後等)に様子を見て危険がないか確認する。・多動で落ち着かないときはトイレのサインである事が多い為トイレへ誘導してみる。・6時に排尿があることが多く睡眠中でも必ず声を掛け、介助後は居間で過ごしていたが今後は自室で過ごしてもらい目が覚めてから起床介助を行なう。 [リスクマネジメント委員会] ・昼夜逆転があるので薬の調整について、再度医師に相談することを検討。・行動の予測が困難な為、1ヶ月に一度グループ会議の中で近々の情報共有と対応の検討を行う。・骨折完治後、ADL等の状況確認し再度具体的対応について検討する。									
家族への説明	平成26年03月17日(月)		説明方法		<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話	説明職員		●●●		
家族への説明	家族氏名		●●●氏		続柄		長女			
家族への説明	朝の転倒の件を電話にて状況説明し謝罪する。「大丈夫ですよ、わざわざすみません」とお言葉頂く。(事故連絡) 主任看護師からご家族に受診結果左大腿大転子部骨折と診断され施設で経過みる事を説明する。									